

令和 2 年 度

岩手県産業教育振興会 総会

会 議 資 料

岩手県産業教育振興会

一 岩手県産業教育振興会 総会 会議資料 目次 一

○ 令和2年度 岩手県産業教育振興会 総会 次第	1
1 はじめに	2
2 書面開催について	2
3 議案に関する意見書及び承認について	2
4 産業教育振興功労者表彰について	2
○ 第1号議案	
＜令和元年度事業報告について＞	
1 諸会議	3
2 生徒研究文・作文関係	3
3 刊行物	4
4 表彰関係	4
5 大会等助成事業	5
6 キャリアアップサポート推進事業	6
7 会員異動	9
○ 第2号議案	
＜令和元年度決算報告について＞	
1 令和元年度 一般会計 決算書	10
2 令和元年度 特別会計 決算書	11
3 財産目録	12
4 監査報告	12
○ 第3号議案	
＜令和2年度事業計画について＞	
1 諸会議	13
2 生徒研究文・作文関係	13
3 刊行物	13
4 表彰関係	13
5 教員研修関係	13
6 大会等助成事業	14
7 キャリアアップサポート推進事業	14
8 大会等助成事業及びキャリアアップサポート推進事業の助成限度額	14
＜令和2年度予算案について＞	
1 令和2年度 一般会計 予算書(案)	15
2 令和2年度 特別会計 予算書(案)	16
○ 第4号議案	
1 令和2年度役員選出について	17
参考：会則	20

令和２年度 岩手県産業教育振興会 総会 次第

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会は書面による開催と致します。

ご質問・ご意見があれば別紙の「意見書」に記入の上、メールやFAX等により、令和２年６月〇〇日(〇)までに事務局までお送り下さい。

なお、意見書の送付がない場合は、原案について「ご承認」いただいたものと致しますので、ご了承願います。

1 議案

第１号議案 令和元年度事業報告について

第２号議案 令和元年度決算の承認について

第３号議案 令和２年度事業計画並びに予算案について

第４号議案 令和２年度役員選出について

2 その他

1 はじめに

会員の皆様方におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、社会全体が今まで経験したことのない状況となり、様々な対応に追われておられると思います。心よりお見舞いを申し上げます。

例年、この時期に総会を開催致しておりましたが、換気の悪い密閉空間を避ける、多くの人が密集するのを避ける、近距離（互いに手を伸ばしたら届く距離）での会話や発声を行わない、という「三密」を避けることが求められておりますので、令和2年6月中旬にホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催する予定の「総会」は中止と致します。

2 書面開催について

しかしながら、本会の事業は総会の承認を得る必要がございますので、大変勝手ながら書面による総会を開催致します。何卒、ご理解のほど、お願い申し上げます。

3 議案に関する意見書及び承認について

本議案書をご高覧いただき、ご意見ご質問等があれば、別紙「総会に関する意見書」をE-mail、FAX等で事務局までお寄せ下さい。

また、意見書の送付がない場合は、大変恐縮でございますが、議案について「ご承認」いただいたものと致しますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

4 産業教育振興功労者表彰について

議案書審議の前に、長年、本会の活動に寄与していただいた会員様に対し、感謝状及び記念品の贈呈をしております。今年度は総会を開催できませんので、次の会員様に感謝状と記念品を贈らせていただきます。

○表彰内規（表彰規定）

第2条 本会会員として本件産業教育振興に功労のあった学校以外の団体及び個人を表彰する。

団体・・・25年間本会会員であった場合

個人・・・10年間本会会員であった場合

（1）団体企業会員産業教育振興特別功労者表彰

5 会員（1995年入会 25年表彰 敬称省略）

協同組合南三陸ショッピングセンター	大船渡市
さいとう製菓(株)	大船渡市
(株)東海新報社	大船渡市
豊島建設(株)	大船渡市
千葉建設(株)	奥州市

（2）個人会員産業教育振興特別功労者表彰

4 会員（2010年入会 10年表彰 敬称省略）

酒井 孝子	元西和賀高等学校	校長	花巻市
村上 昭男	元大船渡東高等学校	校長	盛岡市
鳥居 幸男	元宮古工業高等学校	実習教諭	宮古市
山崎 善輝	元釜石商工高等学校	実習教諭	釜石市

<令和元年度事業>

1 諸会議

(1) 県内関係

- 4月23日(火) 平成30年度会計監査
事務局室(盛岡工業高等学校内)
- 5月14日(火) 令和元年度常任理事会
サンセール盛岡
- 6月18日(火) 令和元年度岩手県産業教育振興会総会並びに理事会
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 約65名出席
講演 JXTGホールディングス株式会社
代表取締役 副社長執行役員 武 藤 潤 氏
- 11月20日(水) 令和元年度岩手県産業教育フォーラム
サンセール盛岡 約140名参加

(2) 全国関係

- 5月23日(木) 全国産業教育振興会連絡協議会総会及び
(公財)産業教育振興中央会参与・学校代表委員会議
オリンピック記念青少年総合センター(東京代々木)
- 10月26日(土)～27日(日)
第29回全国産業教育フェア新潟大会さんフェア新潟2019
第61回全国産業教育振興大会
朱鷺メッセ(新潟市)
- 2月18日(火) 専門高校就職指導等研究協議会
工業教育会館(東京飯田橋)

2 生徒研究文・作文関係(入賞者に賞状と記念品を授与)

- 8月30日(金) 研究文・作文県内締切(応募数 研究文13編、作文66編)
- 12月26日(木) 研究文・作文審査結果各学校宛通知

(1) 産業教育振興中央会・経済同友会関係

ア 研究文の部(全国応募総数:45編)

○ 優秀賞並びに経済同友会賞

『ツバキでつなぐ気仙 ～廃材を利用した加工品開発～』

大船渡東高等学校 農芸科学科3年 花輪美月さん 他4名

○ 佳作並びに経済同友会賞

『和牛×愛=∞ ～良質な牛肉生産で目指せ和牛甲子園!～』

遠野緑峰高等学校 生産技術科3年 佐々木愛斗さん 他8名

イ 研究文の部（全国応募総数：244編）

○ 佳作

『料理の力を信じて』

久慈東高等学校 総合学科（食物系列）3年 米田梨乃さん

(2) 岩手県産業教育振興会関係

ア 研究文の部

○最優秀賞

『宮古市の漁師さんをつくるこんぶ（昆布）タづくり』

～三陸地域と絆をつないで 新たなエコフィードづくりへの挑戦～

盛岡農業高等学校 動物科学科3年 高橋佑太朗さん 他8名

○優秀賞

『野菜好きすぎ我が家の食卓』～弟と私の食生活改善の取り組み～

平舘高等学校 家政科学科3年 松浦日向さん

イ 作文の部

○最優秀賞

『将来を決めた航海』

久慈東高等学校 総合学科（海洋科学系列）3年 澤座駿人さん

○優秀賞

『牛が好き』

盛岡農業高等学校 動物科学科3年 本舘由唯さん

3 刊行物

(1) 産業教育振興中央会関係

「産業と教育」（月刊）産振中央会から毎月1冊各会員校に配布

(2) 岩手県産業教育振興会関係

3月23日(月)「岩手産業教育」（会報）第109号発行

「令和元年度事業活動報告書」発刊

※ 事業活動報告書については、カラー版を本会のホームページ
で閲覧できるようにした

4 表彰関係

6月18日(火) 産業教育振興功労者表彰

個人6名表彰（10年表彰）

※ 賞状・賞状額・記念品

1月11日(金) 優良卒業生選奨表彰状を各校に発送

財団法人産業教育振興中央会会長賞 53名

岩手県産業教育振興会会長賞 118名

※ 賞状・記念品

5 大会等助成事業

(1) 県内関係

月日	大会名／会場	主管校または出場校／助成内容
7月26日 金	第18回フラワーアレンジメントコンテスト岩手県予選会	盛岡農業高校
	盛岡農業高校	大会運営費補助
9月21日 日	全国高等学校ロボット競技大会岩手県選考会	一関工業高校
	野田村立体育館	大会運営費補助

(2) 東北大会関係

月日	大会名／会場	主管校または出場校／助成内容
7月20日 土	高校生ものづくりコンテスト2019東北大会(化学分析部門)	盛岡工業高校
	盛岡工業高校	大会運営費補助
7月28日 日	高校生ものづくりコンテスト2019東北大会(電気工事部門)	福岡工業高校
	秋田 秋田工業高等学校	交通費助成
8月9日 金	高校生ものづくりコンテスト2019東北大会(旋盤作業部門)	黒沢尻工業高校
	宮城 仙台高等技術専門学校	交通費助成
8月23日 金	第70回日本学校農業クラブ東北連盟大会 クラブ活動紹介	遠野緑峰高校
	秋田 秋田市文化会館・交流センター	交通費助成
8月23日 金	第70回日本学校農業クラブ東北連盟大会 プロジェクト発表	遠野緑峰高校
	秋田 秋田市文化会館・交流センター	交通費助成
11月1日 金	第28回全国水産・海洋高等学校生徒研究発表東北地区大会	久慈東高校
	久慈東高校 銀杏ホール	大会運営費補助
11月2日 土	第46回東北六県高等学校珠算・電卓競技大会	盛岡商業高校
	盛岡商業高校	大会運営費助成
11月3日 日	マイコンカーラリー北東北地区大会	花北青雲高校
	花北青雲高校	大会運営費補助

(3) 全国大会関係

月日	大会名／会場	主管校OR出場校／助成内容
5月4日 土	2019 ワールド・エコノ・ブ・ムーブ	盛岡工業高校
	秋田 大潟村ソーラースポーツライン	交通費助成
7月21日 日	第35回全国高等学校簿記コンクール	盛岡商業・水沢商業
	兵庫 関西学院大学	交通費助成
7月28日 日	第31回 全国高等学校情報処理競技大会	盛岡商業・花北青雲・水沢商業
	広島 広島市立大学	交通費助成
8月1日 木	第66全国高等学校珠算・電卓競技大会	盛岡商業・水沢商業
	宮城 仙台サンプラザ	交通費助成

月日	大会名／会場	主管校OR出場校／助成内容
8月2日 金	第67回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会兵庫大会	平館高校
	兵庫 姫路市文化センター	交通費助成
	兵庫県教育委員会賞(全国第3位)	
8月7日 水	第66回全国高等学校ワープロ競技大会	盛岡商業・花北青雲・水沢商業
	愛知 名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール	交通費助成
	水沢商業高校 団体全国10位	
9月1日 日	2019 電気自動車エコラン競技大会 in SUGO	盛岡工業高校
	宮城 スポーツランドSUGO	交通費助成
	ベルーガ2号 全国3位 ベルーガ1号 全国5位	
10月26日 土	第29回全国産業教育フェア新潟大会(意見・体験発表 家庭部門)	平館高校
	新潟 朱鷺メッセ	交通費助成
10月24日 木	第70回日本学校農業クラブ全国大会南東北大会 プロジェクト発表会	遠野緑峰高校
	宮城 名取市文化会館	交通費助成
10月24日 木	第70回日本学校農業クラブ全国大会南東北大会 農業鑑定競技会	遠野緑峰・久慈東
	福島 福島明成高等学校	交通費助成
11月17日 日	高校生ものづくりコンテスト2019全国大会(旋盤作業部門)	黒沢尻工業高校
	大阪 ポリテクセンター関西	交通費助成
11月20日 水	第27回全国高等学校生徒商業研究発表大会	水沢商業高校
	埼玉 埼玉会館	交通費助成
	優良賞を受賞	

6 キャリアアップサポート推進事業

(1) 出前授業・体験教室

期間	実施校	実施内容	助成内容
6月21日 金 ～ 7月9日 火	福岡工業高校	福工生による二戸市内中学校への出前授業	材料費等
		二戸市内中学校3校へ「機械系・電気系」の高校生が中学生向けに出前授業を行った。	
8月3日 土	盛岡工業高校	2019 ものづくり体験教室 in 盛工	材料費等
		近隣地区の小学校へ開催案内を配布し、小学生とその保護者(21組)を対象に、空中に浮くプラスチックパックの製作体験教室を開催した。	
9月20日 金	平館高校	平館小学校における出前授業 紫根染(絞り模様入り)の体験実習	材料費等
		平館小学校へ出向き、高校生が小学生(19名)へ紫根染めの歴史や、活用方法を説明し、実際の染め方を指導する体験教室を行った。	

期間	実施校	実施内容	助成内容
10月5日 土	平館高校	紫根染め（絞り模様入りの体験教室）	材料費等
		一般市民18名を対象に、高校生が紫根染めの歴史や、活用方法を説明し、実際の染め方を指導する体験教室を行った。	
5月24日 金 ～ 10月31日 木	岩谷堂高校	江刺第一中学校との交流活動	材料費等
		岩谷堂高校の水田を活用し、江刺第一中学校の3年生とイネの栽培を通して高校生と中学生の交流学習を行い、達成感や充実感を深めることを目的として実施した。	
1月23日 木 2月6日 木	黒沢尻工業高校	黒エ×地域プロジェクト（二子・飯豊）	材料費等
		二子地区・飯豊地区をフィールドに黒工生の技術を活かす活動に取り組み、「化学実験とものづくりを通して工業のおもしろさを伝える」をテーマに北上学童保育所たんぼぼクラブにて活動を行った。	

(2) 販売実習・職場見学・講習会

期間	実施校	実施内容	助成内容
5月11日 土 5月12日 日	花北青雲高校	情報配線施工技能検定実技講習会	講師謝金 交通費 助成
		外部講師による出前授業を通して、情報配線施工検定3級に関する基礎的な知識と技術を習得するための実技講習会を実施した。	
7月25日 木	遠野緑峰高校	LEGOプログラミング実技講習会	講師謝金 交通費 助成
		外部講師によるプログラミングの実習を行い、既習内容の知識と理解、技能を発展させるための実技講習会を実施した。	
8月15日 木 ～ 8月18日 日	水沢商業高校	第7回全国高校生合同販売「デパートゆにっと」 長野 井上百貨店	交通費 助成
		全国各地の高校10校57名と大学1校17名が参加し、学校開発商品や企業、地元と連携した商品を販売し、その販売方法を学習し合うイベントに参加した。	
9月14日 土 ～ 9月15日 日	盛岡商業高校 宮古商業高校 水沢商業高校 岩谷堂高校	IBCまつり 2019 in アピオ	交通費 宿泊費 助成
		生徒がプロデュースした商品や、被災地域や地元企業の商品を各校が工夫を凝らして、IBCまつりの高校生ブースで販売を行った。	
10月10日 木	紫波総合高校	企業見学会	交通費 助成
		SUPERオセン・小岩井乳業・盛岡市中央卸売市場・花巻温泉・特別養護老人ホームいしどりや荘などの企業見学を行い早期の進路選択を促す。	

期間	実施校	実施内容	助成内容
11月19日 火	金石商工高校	第二種電気工事士実技講習会	講師謝金 材料費 助成
		外部講師から直接実技指導等をもらうことで、技能及び知識のレベルアップを図り、第二種電気工事士の合格率向上を図るために実施した。	
11月18日 月 11月27日 水 12月4日 木	千厩高校	第一種電気工事士技能講習会	講師謝金 交通費 材料費 助成
		第一種電気工事士技能試験に向けて、実際に電気工事の仕事に従事している方を招き、作業の効率化や工具(特にナイフ)の適切な使用方法等を直接教わる事で、試験合格に繋げるために実施した。	
12月3日 火	平館高校	職場見学・実習	交通費 助成
		ホテル安比グランドで職場見学をさせてもらい、講演及び客室清掃やテーブルセッティングの実習も行った。	
12月9日 月	北上翔南高校	フラワーアレンジメント講習会	講師謝金 材料費 助成
		外部講師によるフラワーアレンジメントの講義と実習を行い、フラワーアレンジメントの基礎基本を学習した。	
12月24日 金	金石商工高校	技能検定「電子機器組立3級」実技講習会	講師謝金 材料費 助成
		外部講師から受検者へ直接指導・アドバイスをいただき、技能のレベルアップを図り、技能検定「電子機器組立3級」の合格率向上を図るために実施した。	
1月22日 水	久慈東高校	西洋料理実技講習会	講師謝金 材料費 助成
		ロレオール田野畑のオーナーシェフである伊藤シェフを招き、地元の食材を活かした西洋料理について実技指導をしてもらい料理の感性を磨くと同時に調理技術の向上を図る目的で実施した。	
2月7日 金	平館高校	「そば打ち」伝承学習	講師謝金 材料費 助成
		外部講師を招き、地域の郷土食でもある「そば打ち」を体験的に学習し、地域の観光資源や郷土の文化伝承について考え、日本の伝統文化の理解を深める機会として実施した。	
3月4日 水	千厩高校	第二種電気工事士実技講習会	講師謝金 交通費 材料費 助成
		産業技術科全員受験と位置づけている第二種電気工事資格に対し、実際に電気工事の仕事に従事している方から直接指導をしていただくことで技能と試験合格率の向上を図る機会として実施した。	

期間	実施校	実施内容	助成内容
10月26日 土 ～ 10月27日 日	盛岡工業高校 水沢工業高校	第27回全国高等学校ロボット競技大会 さんフェア新潟2019 アオーレ長岡	交通費 運搬費 助成
		県予選を勝ち抜いた全国128チームがリモコン型のロボットと自立型のロボットを駆使して、3分以内に課題をクリアする大会に本県から2校4チームが参加した。	
10月26日 土 ～ 10月27日 日	花巻農業高校 花北青雲高校	第18回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト さんフェア新潟2019 朱鷺メッセ	交通費 助成
		県予選を勝ち抜いた全国65名が制限時間60分の間に、課題として与えられた花器や花材を使って、様々なアレンジで競い合う競技。本県からは2名が参加した。	

7 会員異動

(1) 新規会員 団体 1 個人 2 計 3 会員

(2) 退会会員 団体 5 個人 4 計 9 会員

※30年以上会員であった花巻農業協同組合様・日本製鉄(株)釜石製鉄所様が、
企業事情により退会されている。

また、3年連続会費未納である会員様は令和元年度はなかった。

(3) 令和元年度末会員数

団体会員 2 0 5 委嘱会員 1 7 学校会員 3 8 個人会員 7 0 合計 3 3 0 会員

令和元年度 岩手県産業教育振興会一般会計 決算書

令和2年3月末 現在

1 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	収納率	摘 要
繰越金	616,955	616,955	0	100.0%	前年度繰越金
会費	2,069,408	2,286,830	217,422	110.5%	会員数318(会費納入会員303)
産業教育振興会学校協力金	1,870,200	1,869,800	△ 400	100.0%	専門学科等在籍生徒数9,349人×200円
補助金	1,000,000	1,000,000	0	100.0%	岩手県より
中央会費学校負担金	457,000	457,000	0	100.0%	学級数3クラス以下 8校×10,000円 その他の学校 29校×13,000円
雑収入	50	5	△ 45	10.0%	預金利息
収入合計	6,013,613	6,230,590	216,977		

2 支出の部

(単位：円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	執行率	摘要
事業費	3,664,827	3,351,204	313,623	91.4%	
大会等助成費	968,768	767,904	200,864	79.3%	岩手県予選大会補助(ロボット・フラワー) 東北大会・全国大会出場旅費補助
キャリアアップサポート事業費	1,231,557	1,353,736	△ 122,179	109.9%	全国産業教育フェア旅費補助・出前授業・技能講習会 補助・職場見学補助・産業教育フォーラム補助
産業教育に関する表彰費	338,600	241,266	97,334	71.3%	産業教育振興功労者表彰・御下賜金記念産業教育功 労者表彰・優良卒業生表彰の表彰及び発送経費
生徒研究文・作文表彰費	69,450	27,328	42,122	39.3%	生徒研究文・作文コンクール入賞者の表彰 及び発送経費
教員研修助成費	30,000	0	30,000	0.0%	教員産業実地研修補助
総会等開催費	674,492	538,629	135,863	79.9%	常任理事会・総会の開催費用
会報等発行費	351,960	422,341	△ 70,381	120.0%	会報・事業活動報告書の印刷及び発送経費
事務費	1,718,730	1,832,548	△ 113,818	106.6%	
給与手当	1,321,680	1,321,680	0	100.0%	事務局員の給与
大会参加旅費	122,250	133,260	△ 11,010	109.0%	全産振全国大会・さんフェア新潟2019旅費
消耗品費	142,580	191,030	△ 48,450	134.0%	封筒・プリンタカウンターチャージ・事務用品
通信費手数料	94,200	141,606	△ 47,406	150.3%	電話・送金手数料・郵送料・切手代
雑費	38,020	44,972	△ 6,952	118.3%	労働保険料・ソフトウェア更新料等
全産協会負担金	65,000	65,432	△ 432	100.7%	全国産業教育振興会連絡協議会負担金
中央会費負担金	457,000	457,000	0	100.0%	産業教育振興中央会学校会費
周年積立金	100,000	100,000	0	100.0%	周年積立金
予備費	8,056	0	8,056	0.0%	
支出合計	6,013,613	5,806,184	207,429		

3 残高の部

(単位：円)

収入合計	支出合計	=	残高合計
6,230,590	5,806,184	=	424,406

令和元年度 産業教育振興会特別会計 決算書

令和2年3月末現在

1 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	収納率	摘 要
繰越金	300,697	300,697	0	100.0%	
定期預金	200,000	200,000	0	100.0%	
普通預金	100,697	100,697	0	100.0%	
周年積立金	100,000	100,000	0	100.0%	令和元年度分 積立金
雑収入	271,558	271,552	△ 6	100.0%	
定期預金利息	20	17	△ 3	85.0%	利息（定期預金）
普通預金利息	5	2	△ 3	40.0%	利息（普通預金）
80周年特別会計残金繰入金	271,533	271,533	0	100.0%	80周年特別会計残金の繰入
収入合計	672,255	672,249	△ 6		

2 支出の部

(単位：円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	執行率	摘要
繰出金	0	0	0		
定期預金	0	0	0		
普通預金	0	0	0		
繰越予定金	672,255	0	672,255	0.0%	令和2年度へ繰越
支出合計	672,255	0	672,255		

(単位：円)

3 残高の部

収入合計	—	支出合計	=	残高（繰越金）	
672,249	—	0	=	672,249	
				定期預金	300,000
				普通預金	372,249

財 産 目 録

令和2年4月10日

会計種別	預 金 種 別	金 額	備 考	
一般会計	普 通 預 金	393,518	北日本銀行 本宮支店	No. 7013031
	当 座 預 金	30,888	ゆうちょ銀行 二二九店	No. 0143037
	計	424,406		
特別会計	定 期 預 金	300,000	岩手銀行 県庁支店	No. 2026210
	普 通 預 金	372,249	岩手銀行 県庁支店	No. 0108325
	計	672,249		
合 計		1,096,655		

監 査 報 告 書

本会会則第9条の8の規定に基づき、令和元年度の会務、事業及び資産状況の監査を実施したので、その結果を次の通り報告します。

1. 会計経理事務について

適正に処理されており、諸帳簿、証憑書類がよく整理され、計数上遺漏がないと認められる。

2. 会務の運営状況について

本会の事業目的に即して多くの学校・生徒への支援を行っている。しかし消費税増税に伴い、消耗品や各種手数料、郵送料等が値上げされ、厳しい予算運営である。

他方、学校会員から支援要請は毎年のように増えており、安定した事業運営に予断を許さない状況である。

3. 会計処理区分について

令和元年度から一般会計の会計処理区分が変更されたが、本会の支援目的に合致した適切な支出となり、助成事業等の支出額がより明瞭となり、評価される。

4. 自主財源の確保

年度末に全会員に送付する「事業活動報告書」は、印刷物を送付するのではなくホームページ上に掲載するなど、印刷費や送料等の削減を行ったが、経費削減には限界があり、他方、学校からの支援要請が増加していることから、収入を増やすための何らかの方策を検討する必要がある。

令和2年4月16日

監事 池 野 裕 治



監事 長谷川 久 晃



<令和2年度事業>

1 諸会議

(1) 県内関係

- 4月16日(木) 令和元年度会計監査(事務局)
 5月14日(木) 常任理事会(サンセール盛岡): **中止**
 ※書面による開催
 6月17日(水) 総会並びに理事会(ホテルメトロポリタン盛岡): **中止**
 ※書面による開催
 11月27日(金) 岩手県産業教育フォーラム(サンセール盛岡)

(2) 全国関係

- 5月下旬 全国産業教育振興会連絡協議会総会及び産業教育振興中央会
 参与・学校代表委員会議(東京): **中止**
 10月24日(土)~25日(日) 第30回全国産業教育フェア大分大会さんフェアおおいた2020
 第62回全国産業教育振興大会(大分市)
 2月中旬 専門高校就職指導等研究協議会(東京)

2 生徒研究文・作文関係

- 8月28日(金) 県内応募締切
 9月16日(水) 中央会に提出
 12月上旬 審査結果発表
 ※ 岩手県産業教育振興会主催の研究文・作文コンクールについては、それぞれ、
 最優秀賞1作品、優秀賞1作品について賞状及び記念品を贈呈する。

3 刊行物

- (1) 岩手県産業教育振興会事業活動報告書(白黒印刷) 令和3年3月下旬発行予定
 ※ カラー版はホームページからダウンロードできるようにする。
 (2) 会報第110号「岩手産業教育」 令和3年3月下旬発行予定
 (3) 刊行物の印刷部数削減及び発送経費等節減のため、Web提供(ホームページでの
 閲覧またはダウンロード)の希望調査を行う。

4 表彰関係

- 6月中旬 産業教育振興功労者表彰(団体5団体・個人4名)
 感謝状・賞状額・記念品を送付(総会での表彰は行わない)
 10月上旬 御下賜金記念産業教育功労者決定(教職員) 賞状・記念品
 12月下旬 優良卒業生表彰決定(中央会会長・県産振会長) 賞状・記念品

5 教員研修関係

- (1) 教員産業実地研修(県産振補助3万円) 今年度は新型コロナウイルス対応のため**中止**
 (2) 教員海外産業教育事情研修派遣(県産振補助5万円) 11/16(月)~11/22(日)
 ※希望者なし
 (3) 産業教育改善に関する特別研究助成(県産振補助2万円) ※希望者なし

6 大会等助成事業

(1) 県内大会関係

ア 岩手県予選関係（大会運営助成）

- ・全国高等学校ロボット競技大会岩手県予選（5万円）
- ・全国高等学校フラワーアレンジメントコンテスト岩手県予選（2万円）

イ 県内で開催される全国大会及び東北大会（それぞれ2万円）

ウ 中学校技術・家庭部会教育研究大会（1万円）

(2) 東北大会派遣関係

県代表として出場する生徒1名分の往復交通費

(3) 全国大会派遣関係

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、総合学科等、各部会事業の全国大会に出場する生徒1名分の往復交通費

※ 東北大会や全国大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応により、開催中止が決定されたものもあることから、中止された東北大会や全国大会へ助成する予定の金額を、他の助成事業に対して一部増額して助成する。なお、増額の基準は事務局が定めるものとし、今年度限りの措置とする。

7 キャリアアップサポート推進事業

(1) 全国高等学校ロボット競技大会出場生徒の往復交通費（1名分:大分開催につき上限5万円）とロボット搬送費補助（4万円）

(2) 全国高等学校フラワーアレンジメントコンテスト出場生徒の往復交通費（1名分:大分開催につき上限5万円）

(3) 全国産業教育フェア作品展示に関わる生徒1名分の往復交通費

(4) 小中連携事業（出前授業）に対する助成

(5) キャリア教育のための外部講師による講演会補助など（講師の謝金交通費）

(6) 進路指導等に伴う企業見学に関わる移動バス代等の経費

(7) 販売実習の参加のための経費（機器賃借料・宿泊補助・1名分往復交通費）

(8) 外部講師による実技講習会のための講習会補助など

8 大会等助成事業及びキャリアアップサポート推進事業の助成限度額

令和元年度に消費税率が引き上げられ、消耗品や記念品等の単価が上昇し、手数料や送料も上昇したこと、令和2年度から教育情報ネットワーク（GWW）が利用できなくなり、郵送による通知となること、各学校への事前調査で助成希望が増加したこと等により、令和2年度については「大会助成等事業」及び「キャリアアップサポート推進事業」のいずれについても、**1件あたりの助成額の限度額を35,000円**とする。

ただし、全国高等学校ロボット競技大会岩手県予選と全国産業教育フェア大分大会に出場する生徒の往復交通費（1名分）とロボット搬送費補助については例外とする。

<令和2年度予算>

令和2年度 岩手県産業教育振興会一般会計 予算書（案）

1 収入の部

（単位：円）

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	前年度決算額	摘 要
繰越金	424,406	616,955	△ 192,549	616,955	前年度繰越金
会費	2,060,760	2,069,408	△ 8,648	2,286,830	登録会員の納入率95％に設定
産業教育振興会学校協力金	1,765,800	1,870,200	△ 104,400	1,869,800	専門学科等在籍生徒数8,829人×200円
補助金	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	岩手県より
中央会費学校負担金	434,000	457,000	△ 23,000	457,000	学級数3クラス以下 7校×10,000円 その他の学校 28校×13,000円
雑収入	10	50	△ 40	5	預金利息
収入合計	5,684,976	6,013,613	△ 328,637	6,230,590	

2 支出の部

（単位：円）

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	前年度決算額	摘 要
事業費	3,379,099	3,664,827	△ 285,728	3,351,204	
大会等助成費	1,055,240	968,768	86,472	767,904	岩手県予選大会補助(ロボット・フラワー) 東北大会・全国大会出場旅費補助
キャリアアップサポート事業費	1,176,155	1,231,557	△ 55,402	1,353,736	全国産業教育フェア出場旅費補助・出前授業・ 外部講師による講演会・職場見学経費補助
産業教育に関する表彰費	329,100	338,600	△ 9,500	241,266	産業教育振興功労者表彰・御下賜金記念産業教育功 労者表彰・優良卒業生表彰の表彰及び発送経費
生徒研究文・作文表彰費	59,400	69,450	△ 10,050	27,328	生徒研究文・作文コンクール入賞者の表彰 及び発送経費
教員研修助成費	0	30,000	△ 30,000	0	希望者なし
総会等開催費	495,004	674,492	△ 179,488	538,629	常任理事会・総会書面開催費用 産業教育フォーラム開催費用
会報等発行費	264,200	351,960	△ 87,760	422,341	会報・事業活動報告書の印刷及び発送経費
事務費	1,751,700	1,718,730	32,970	1,832,548	
給与手当	1,321,680	1,321,680	0	1,321,680	事務局長の給与
大会参加旅費	142,570	122,250	20,320	133,260	さんフェア大分2020旅費
消耗品費	122,900	142,580	△ 19,680	191,030	封筒・プリンタカウンターチャージ・事務用品
通信費手数料	124,300	94,200	30,100	141,606	電話・送金手数料・郵送料
雑費	40,250	38,020	2,230	44,972	労働保険料・ソフトウェア更新料等
全産協会負担金	65,000	65,000	0	65,432	全国産業教育振興会連絡協議会負担金
中央会費負担金	434,000	457,000	△ 23,000	457,000	産業教育振興中央会学校会費
周年積立金	50,000	100,000	△ 50,000	100,000	周年事業実施のための積立金
予備費	5,177	8,056	△ 2,879	0	
支出合計	5,684,976	6,013,613	△ 328,637	5,806,184	

令和２年度 岩手県産業教育振興会特別会計 予算書（案）

１ 収入の部

（単位：円）

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	前年度決算額	摘 要
繰越金	672,249	300,697	371,552	300,697	
定期預金	300,000	200,000	100,000	200,000	前期繰越金
普通預金	372,249	100,697	271,552	100,697	前期繰越金
周年積立金	50,000	100,000	△ 50,000	100,000	周年事業積立(一般会計から)
雑収入	25	271,558	△ 271,533	271,552	
定期預金利息	20	20	0	17	利息（定期預金）
普通預金利息	5	5	0	2	利息（普通預金）
80周年記念特別会計残金繰入金	0	271,533	△ 271,533	271,533	
収入合計	722,274	672,255	50,019	672,249	

２ 支出の部

（単位：円）

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	前年度決算額	摘 要
繰出金	0	1,200,000	△ 1,200,000	0	
定期預金	0	800,000	△ 800,000	0	
普通預金	0	400,000	△ 400,000	0	
繰越予定金	722,274	300,816	421,458	672,249	
定期預金	350,000	200,000	150,000	300,000	定期預金繰越予定額
普通預金	372,274	100,816	271,458	372,249	普通預金繰越予定額
支出合計	722,274	1,500,816	△ 778,542	672,249	

第 4 号議案

令和 2 年度役員選出について

＜敬称省略＞

会長（１名）

株式会社 I B C 岩手放送	代表取締役社長	鎌 田 英 樹
-----------------	---------	---------

副会長（３名）

一般社団法人岩手県建設産業団体連合会	会長	木 下 紘
岩手県農業協同組合中央会	会長	久 保 憲 雄
岩手県教育委員会	教育長	佐 藤 博

理事長（１名）

○ 東北電力株式会社	(新) 支店長	近 藤 一 英
------------	---------	---------

副理事長（１名）

○ 岩手県高等学校 P T A 連合会	(新) 会長	清 水 成 樹
---------------------	--------	---------

理事（４０名）※常任理事○印

○ 盛岡商工会議所 (みちのくコカ・コーラボトリング株式会社)	会頭 (代表取締役会長)	谷 村 邦 久
○ 宮古商工会議所 (花坂印刷工業株式会社)	会頭 (代表取締役社長)	花 坂 康 太 郎
花巻商工会議所 (株式会社みちのくクボタ)	会頭 (代表取締役社長)	高 橋 豊
北上商工会議所 (株式会社佐藤組)	会頭 (代表取締役社長)	佐 藤 正 昭
奥州商工会議所 (鎌田段ボール工業株式会社)	(新) 会頭 (代表取締役)	鎌 田 卓 也
一関商工会議所 (世嬉の一酒造株式会社)	会頭 (代表取締役会長)	佐 藤 朧 僖
大船渡商工会議所 (株式会社マイヤ)	(新) 会頭 (代表取締役会長)	米 谷 春 夫
釜石商工会議所 (日東自動車工業株式会社)	(新) 会頭 (代表取締役)	菊 地 次 雄
久慈商工会議所 (株式会社ヤマイチ)	(新) 会頭 (代表取締役)	山 王 敏 彦
○ 岩手県議会議員	(新) 総務委員長	岩 渕 誠
○ 岩手県議会議員	(新) 文教委員会委員長	柳 村 一
○ 全国農業協同組合連合会	岩手県本部長	畠 山 俊 彰
○ 岩手県森林・林業会議	専務理事	千 田 育 郎
○ 岩手県漁業協同組合連合会	専務理事	後 藤 均
○ 株式会社岩手日報社	相談役	三 浦 宏

○	株式会社テレビ岩手	代表取締役社長	榎 野 信 治
○	株式会社岩手めんこいテレビ (新)	代表取締役社長	齋 藤 秋 水
○	株式会社岩手朝日テレビ	代表取締役社長	畠 山 大
○	株式会社ベルジョイス	代表取締役会長	小 莉 米 秀 樹
○	株式会社東山堂	取締役社長	玉 山 哲
○	株式会社久慈設計	代表取締役社長	久 慈 竜 也
	岩手中央農業協同組合	代表理事組合長	浅 沼 清 一
○	株式会社ジャパンセミコンダクター	総務部長	古 川 賢 悦
○	盛岡信用金庫	理事長	浅 沼 晃
○	株式会社岩手銀行	常務取締役人事部長	柿 木 康 孝
○	株式会社北日本銀行	人事部長	高 橋 学
○	株式会社東北銀行 (新)	人事部長	高 橋 謙 将
○	岩手県中学校長会 (新)	会長	菊 池 正 樹
○	岩手県中学校教育研究会技術・家庭科部会 (新)	会長	狩 原 雅 裕
○	岩手県PTA連合会	会長	田 口 昭 隆
○	岩手県教育委員会事務局	教育次長	梅 津 久 仁 宏
○	岩手県立盛岡農業高等学校	校長	神 山 秀 市
○	岩手県立盛岡工業高等学校	校長	南 舘 秀 昭
○	岩手県立盛岡商業高等学校 (新)	校長	千 葉 尚
○	岩手県立花北青雲高等学校	校長	太 田 優 子
○	岩手県立宮古水産高等学校	校長	山 田 浩 和
○	江南義塾盛岡高等学校	校長	鷹 觜 文 昭
	岩手県教育委員会事務局教職員課	参事兼教職員課総括課長	山 村 勉
	岩手県教育委員会事務局教育企画室	学校施設課長	新 田 芳 文
○	岩手県産業教育振興会	事務局長	金 澤 広 利

監事（２名）

株式会社木津屋本店	取締役社長	池 野 裕 治
株式会社ユアテック岩手支社 (新)	常務執行役員岩手支社長	長 沼 博

評議員（４９名）

岩手トヨタ自動車株式会社	代表取締役社長	小 林 義 弘
岩手ふるさと農業協同組合	経営管理委員会会長	後 藤 元 夫
いわて平泉農業協同組合	代表理事組合長	佐 藤 鉦 一
鹿島建設株式会社盛岡営業所	所長	佐 藤 仁 志
協同組合盛岡卸センター	理事長	藤 村 文 昭
三陸やまだ漁業協同組合	代表理事組合長	生 駒 利 治
日本通運株式会社盛岡支店	支店長	別 府 隆 司
広田湾漁業協同組合	代表理事組合長	砂 田 光 保
宮古漁業協同組合	代表理事組合長	大 井 誠 治
岩手大学 農学部 (新)	学部長	倉 島 栄 一
岩手大学 人文社会科学部	学部長	山 本 昭 彦

岩手大学 理工学部		学部長	船 崎 健 一
岩手大学 教育学部	(新)	学部長	宇 佐 美 公 正
岩手県立大学 総合政策学部	(新)	学部長	高 嶋 裕 一
岩手県立大学 社会福祉学部	(新)	学部長	高 橋 聡
岩手県立大学 ソフトウェア情報学部	(新)	学部長	亀 田 昌 志
岩手県立大学 看護学部	(新)	学部長	福 島 裕 子
N H K盛岡放送局		局長	大 久 保 嘉 二
盛岡市教育委員会		教育長	千 葉 仁 一
平舘高等学校		校長	谷 藤 節 雄
紫波総合高等学校		校長	馬 場 香 樹
花巻農業高等学校		校長	楳 原 健
北上翔南高等学校		校長	坂 本 美 知 治
黒沢尻工業高等学校	(新)	校長	千 葉 治
水沢農業高等学校		校長	畠 山 一 弘
水沢工業高等学校		校長	佐々木光男
水沢商業高等学校	(新)	校長	佐藤由記男
岩谷堂高等学校		校長	鈴 木 智 香
一関工業高等学校	(新)	校長	佐々木直美
一関第二高等学校	(新)	校長	高 橋 正 勝
大東高等学校	(新)	校長	鈴 木 尚
千厩高等学校		校長	石 川 克 紀
高田高等学校	(新)	校長	村 上 弘
大船渡東高等学校	(新)	校長	鈴 木 博
釜石商工高等学校	(新)	校長	菊 池 勝 彦
遠野緑峰高等学校		校長	菊 池 勇
宮古商工高等学校	(新)	校長	菅 原 一 志
久慈東高等学校		校長	高 橋 克 壽
久慈工業高等学校		校長	日 當 仁 己
種市高等学校		校長	松 場 喜 美 夫
福岡工業高等学校		校長	池 田 明 宏
一戸高等学校	(新)	校長	上 野 光 久
盛岡市立高等学校		校長	高 橋 正 浩
岩手女子高等学校		校長	荒 屋 敷 均
盛岡誠桜高等学校		校長	附 田 政 登
盛岡スコーレ高等学校		校長	及 川 求
専修大学北上高等学校	(新)	校長	阿 部 伸
水沢第一高等学校	(新)	校長	大 内 誠 光
一関学院高等学校		校長	佐 伯 幸 雄

顧問（２名）

岩手県	知事	達 増 拓 也
岩手県議会	議長	関 根 敏 伸

岩手県産業教育振興会会則

(名 称)

第1条 本会は、岩手県産業教育振興会と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、岩手県立盛岡工業高校内に置く。

(目 的)

第3条 本会は、産業関係者及び教育関係者の協力によって岩手県産業教育の振興を図ることを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次ぎに掲げる事業を行う。

- (1) 産業教育に関する調査研究
- (2) 産業界と学校との連絡調整のための協議会、懇談会等の開催
- (3) 会員の研究及び視察に対する助成
- (4) 産業教育振興に関する啓発活動の推進
- (5) 産業教育に関する功労者及び優良生徒の表彰
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会 員)

第5条 本会の会員は、本会の目的に賛同する団体及び個人とする。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- | | | |
|----------|-----|----------|
| (1) 会 長 | 1 名 | (理事を兼ねる) |
| (2) 副会長 | 3 名 | (理事を兼ねる) |
| (3) 理事長 | 1 名 | |
| (4) 副理事長 | 1 名 | |
| (5) 常任理事 | 若干名 | |
| (6) 理 事 | 若干名 | |
| (7) 評議員 | 若干名 | |
| (8) 監 事 | 2 名 | |

(役員を選出)

- 第7条 理事及び監事は、総会において選出する。
2 会長及び副会長は、理事のうちから選出する。
3 理事長、副理事長及び常任理事は、理事の互選とする。
4 評議員は会員のうちから会長が委嘱する。
5 理事、評議員及び監事は、相互に兼ねることができない。

(役員任期)

- 第8条 役員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
2 その職にある故をもって役員に選出された者が、その職を退いた場合は、本会の役員を退任したものとみなす。この場合において、その職の後任者をもって当該役員の職に充てるものとし、その任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

- 第9条 会長は、本会を代表し会務を総理する。
2 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
3 理事長は、会長の命を受け会務を掌理する。
4 副理事長は、理事長を補佐し理事長に事故があるとき、又理事長が欠けたときは、その職務を代理する。
5 常任理事は、常任理事会を構成し会務遂行上必要な事業及び会計を執行する。
6 理事は、理事会を構成し会務遂行上必要な事項を審議する。
7 評議員は、評議員会を構成し会長の諮問に応じ、会務遂行上重要な事項を審議する。
8 監事は、本会の会務、事業及び財産の状況を監査する。

(顧 問)

- 第10条 本会に、顧問を置くことができる。
2 顧問は、総会において推戴する。

(事務局)

- 第11条 本会には、事務局を設け、事務局長その他必要な職員を置くことができる。
2 職員の任免は会長が行う。

(事務局長)
第12条 事務局長は、会議、庶務及び会計に関する事項をつかさどる。
2 事務局の運営に関する細則は、別に定める。

(会 議)
第13条 本会の会議は、総会、理事会、常任理事会及び評議員会とする。
第14条 総会及び評議員会は、会長がこれを招集、会議の議長となる。
2 理事会、常任理事会は、会長の命により、理事長がこれを招集し、会議の議長となる。

(議 決)
第15条 会議の議事は、総会にあっては出席会員の、理事会、常任理事会及び評議員会にあっては出席役員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総 会)
第16条 総会は、年1回開催し、次に掲げる事項を議決する。
(1) 会長、副会長、理事及び監事の選出
(2) 会務の報告
(3) 事業計画の決定
(4) 予算
(5) 決算の承認
(6) 会則の改正
2 会長が必要と認めたときは、臨時に総会を開催することができる。

(理事会)
第17条 理事会は、必要に応じて開催する。

(常任理事会)
第18条 常任理事会は、原則として年2回以上開催する。
2 常任理事会は、特に緊急を要する事項に関し、事業計画、予算の変更等、専決処理をすることができる。
3 常任理事会の専決処理事項は、次の総会において承認を得なければならない。

(評議員会)
第19条 評議員会は、会長が必要と認めたときに開催する。

(経費の支弁)
第20条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金等をもって支弁する。

(会 費)
第21条 本会の会員は、一定の会費を毎年納入しなければならない。
2 会費に関する細則は、別に定める。

(会計年度)
第22条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(施行細則等)
第23条 本会則を施行するに必要な細則等は、常任理事会の議を経て会長が別に定める。

(会則の変更)
第24条 本会則の変更は、総会の決議による。

附 則
この会則は、平成24年 6月13日から施行する。

昭和27年	1月15日	制定施行
昭和42年	6月30日	一部改正
昭和44年	7月 7日	〃
昭和47年	6月 2日	〃
昭和50年	7月10日	〃
昭和63年	7月19日	〃
平成 9年	6月17日	〃
平成19年	6月11日	〃
平成24年	6月13日	〃